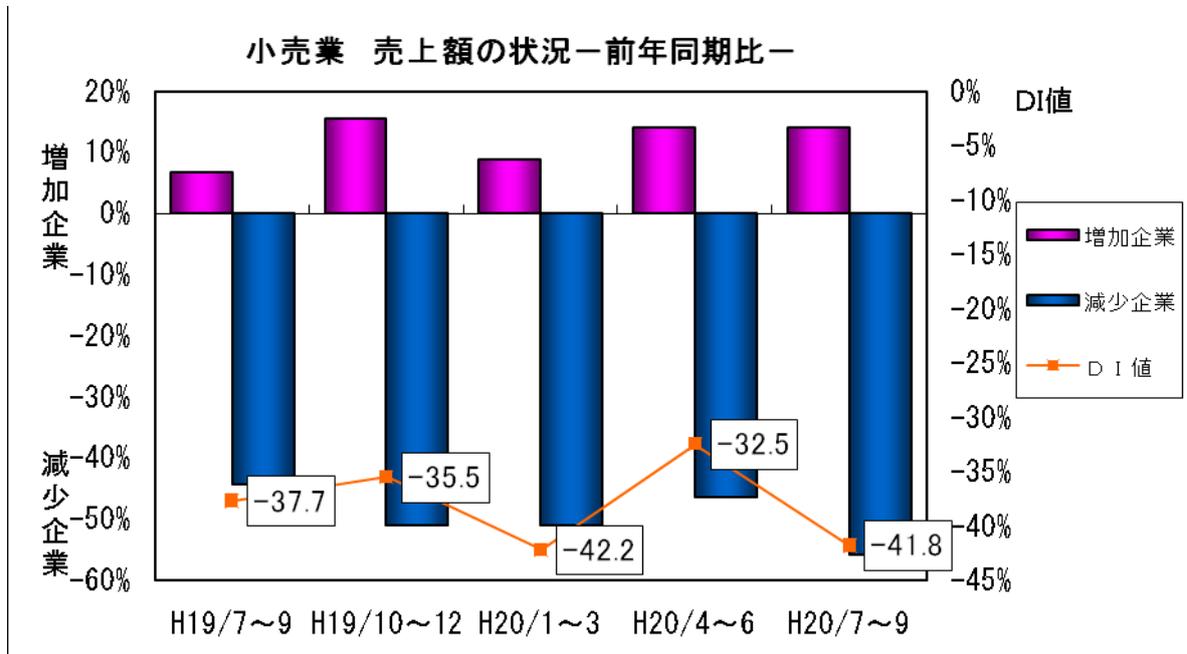


(2) 主要項目の概況（前年同期比）

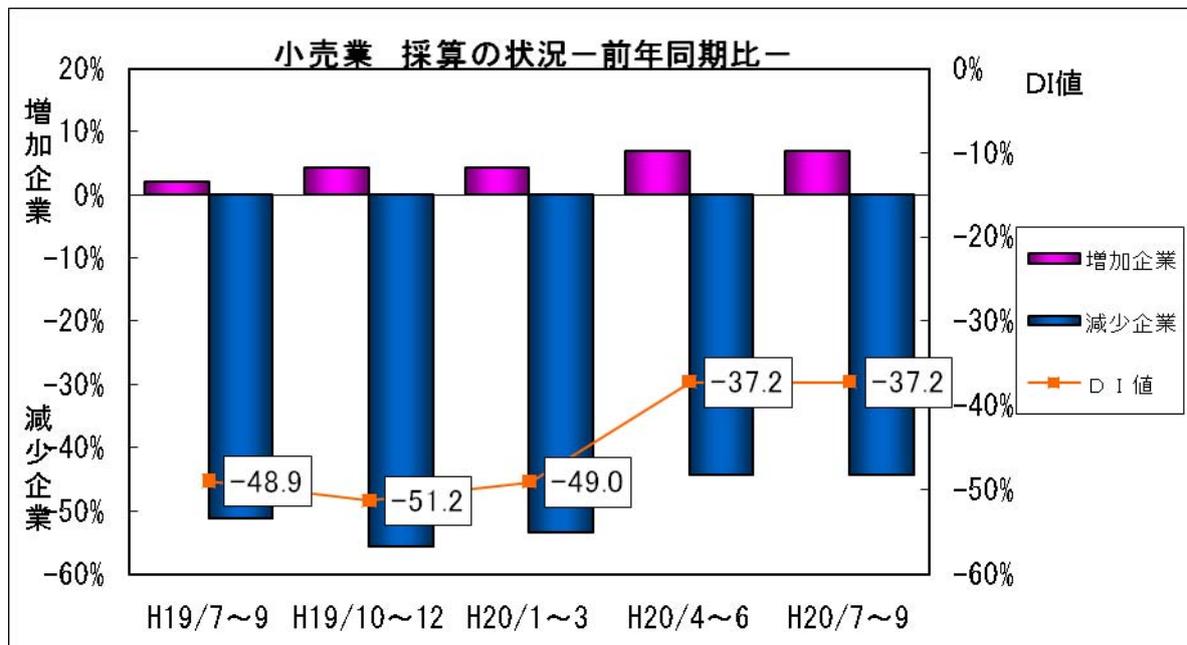
①売上額（前年同期比）

今期の売上額DI値は、マイナス 41.8。前期のマイナス 32.5 から 9.3 ポイント下降、悪化。来期見通しはマイナス 23.3 と大幅に回復する見込み。



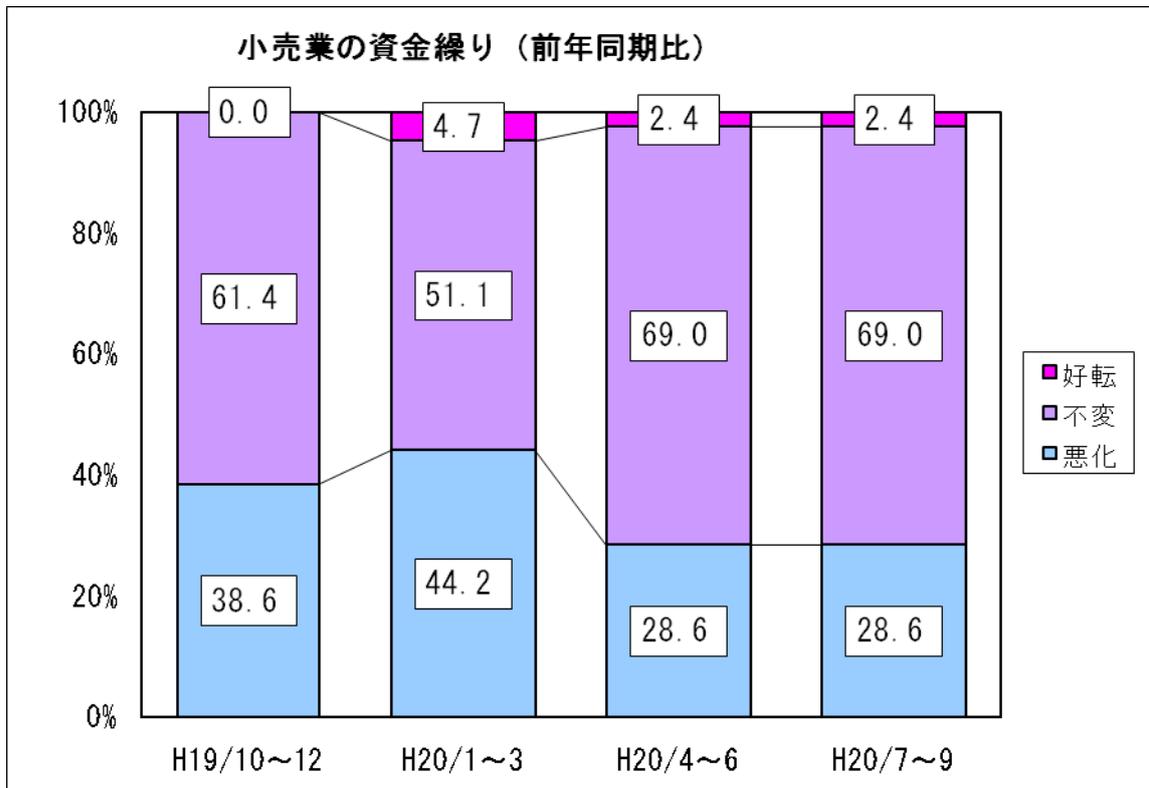
②採算（前年同期比）

今期の採算DI値は、マイナス 37.2。前期のマイナス 37.2 から横ばい。来期見通しはマイナス 40.6 と小幅な悪化の見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I 値は、マイナス 26.2。前期のマイナス 26.2 から横ばい。来期見通しはマイナス 14.2 と大幅な回復の見込み。

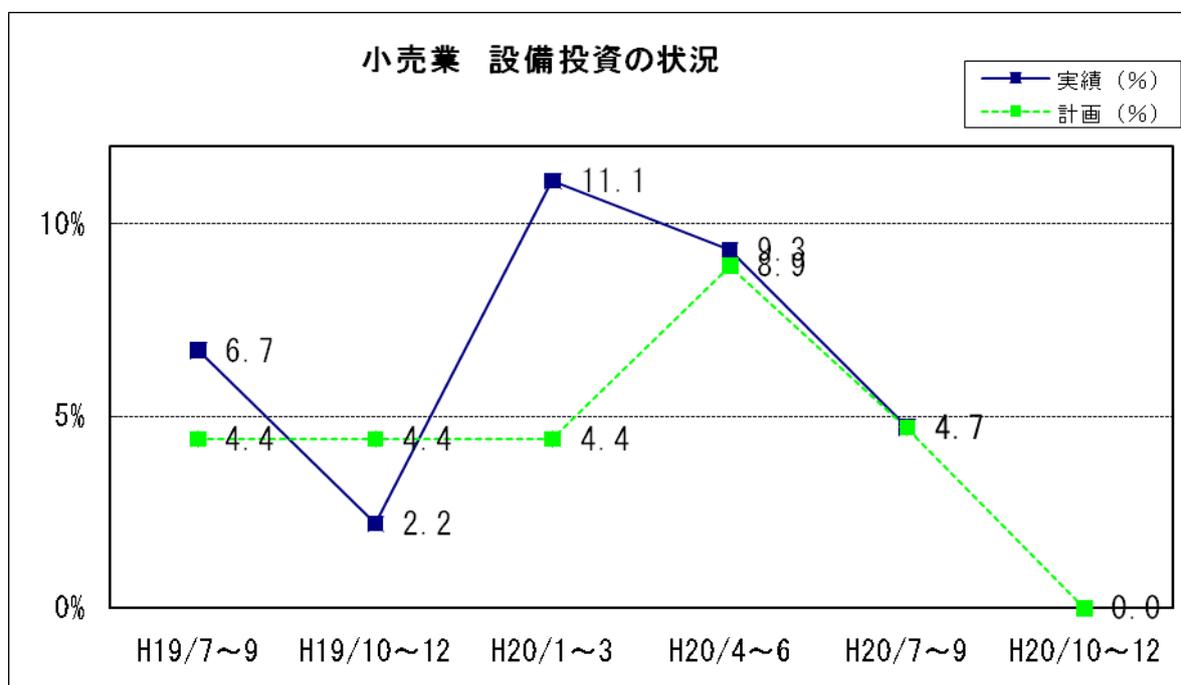


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土地	店舗	販売 設備	車両・ 運 搬 具	付帯 施設	OA 機器	福 利 厚 生 施 設	そ の 他	
前期実施 (実数)	4	0	1	0	2	1	0	0	0	39
(%)	9.3	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	90.7
今期実施 (実数)	2	0	1	0	0	2	0	0	0	41
(%)	4.7	0.0	50.0	0.0	0	100.0	0	0.0	0.0	95.3
来期計画 (実数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

今期設備投資を実施した企業は2社（4.7%）。前期（平成20年4～6月期）の実施企業4社（9.3%）より2社減少。来期は設備投資を計画している企業はない。



⑤経営上の問題点

今期、小売業が経営上の問題点として一位から三位にあげる項目は、
 「購買力の他地域への流出」 (前期62%→今期61.9%)、
 「仕入単価の上昇」 (前期48%→今期40.5%)
 「販売単価の低下、上昇難」 (前期24%→今期33.3%)
 「需要の停滞」 (前期26%→今期31.0%)、
 となっている。

